

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和02年12月07日

計画の名称	宝塚市における住環境の改善および都市機能の向上計画（第2期）											
計画の期間	令和03年度～令和06年度（4年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	宝塚市											
計画の目標	<p>宝塚市においては、阪神・淡路大震災により多くの住宅が全壊・半壊等の被害を受けた。</p> <p>中でも仁川地域においては、震災前は阪急電鉄仁川駅を中心とした利便性の優れた都市型住宅地として発展していたが、震災後の早期復興にあたり、道路等の都市基盤の不足という課題が顕著となった。</p> <p>当地域の課題改善に向け、「宝塚市震災復興地区（仁川）住宅市街地総合整備事業」の整備計画に基づき、社会資本整備を推進することで、防災の観点から災害に強いまちづくりを目指す。</p>											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	3,210	A	3,210	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3当初	—	R6末
1	<p>仁川地区において避難所等までの緊急車両の到達時間を約20%短縮することにより、住民へよりよい防災、救急等の公共サービスを提供する。</p> <p>仁川地区における避難所等の4箇所に対し、緊急車両の到達時間を調査し、平均短縮時間を算定する。</p> <p>宝塚消防・南部出張所から以下4地点への到達時間 ÷ 4 = 緊急車両平均到達時間 鹿塩会館（予備避難所）、仁川小学校（指定避難所）、宝塚第一中学校（指定避難所）、仁川高丸地区（急傾斜地）</p>	414秒	秒	330秒

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
令和11年度時点で3.5分を目標とし、R3年度比で到達時間を約50%短縮する。														

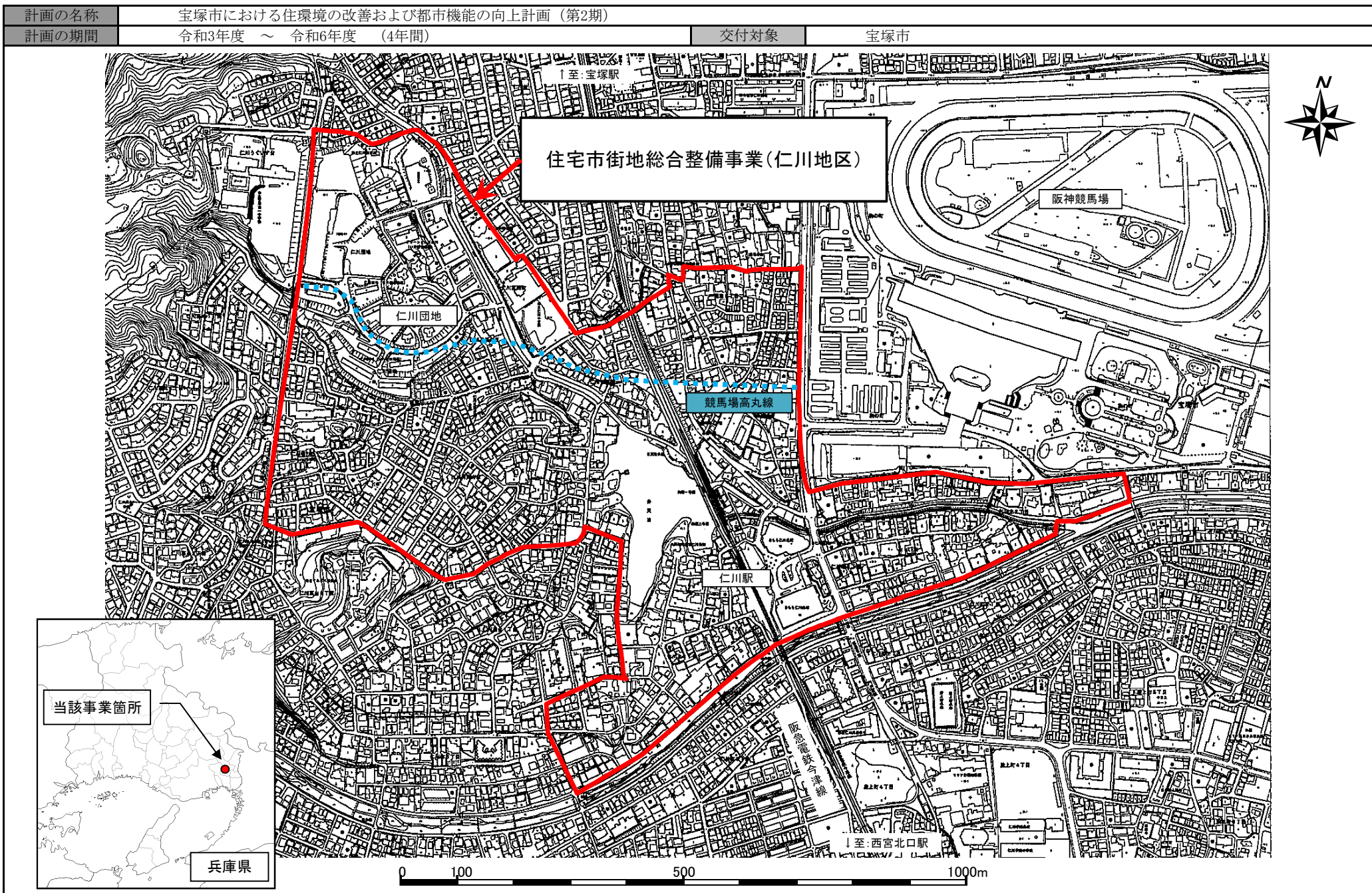
A 基幹事業																						
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況			
												R03	R04	R05	R06	R07						
一体的に実施することにより期待される効果																						
備考																						
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	宝塚市	直接	宝塚市	-	-	住宅市街地総合整備事業 (宝塚市震災復興地区(仁川))	A=64.1ha	宝塚市						3,210	1.25	-			
												小計						3,210				
											合計						3,210					

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R03	R04	R05		
配分額 (a)	125	148	453		
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	125	148	453		
前年度からの繰越額 (d)	61	24	39		
支払済額 (e)	162	133	382		
翌年度繰越額 (f)	24	39	110		
うち未契約繰越額(g)	18	12	71		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	9.67	6.97	14.43		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由			用地買収において、地権者との契約が遅延したため。		

# 参考図面



## 事前評価チェックシート

計画の名称： 宝塚市における住環境の改善および都市機能の向上計画（第2期）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との適整合性 1) まちづくりの目標が基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 上位計画等との適整合性 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

事前評価

チェック欄

III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	2) 交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○